

# MS&AD Report

通期ご報告

2010.4.1～2011.3.31

証券コード:8725

MS&AD MS&AD インシュアランスグループ ホールディングス株式会社

## 目次

- 01 株主の皆さまへ
- 02 東日本大震災に関して
- 05 業績ダイジェスト(2010年度通期)
- 09 会社概要／役員／株式の状況
- 10 株主メモ
- 11 インフォメーション



代表取締役社長

江頭 敏明

持続的成長と企業価値向上を  
追いつける世界トップ水準の  
保険・金融グループを創造します。

2011年3月に発生した東日本大震災で亡くなられた多くの方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。

MS&ADインシュアランス グループ各社では、震災発生直後よりご相談窓口を設置し、お客さま対応要員を大幅に増員して万全の事故受付・保険金お支払い体制を整備するなど、グループを挙げてお客さま対応に取り組んでまいりました。「被害に遭われたお客さまのために、一日も早く保険金をお支払いする」という保険会社としての使命を果たし、被災地の少しでも早い復興に寄与してまいりました。

さて、昨年度のがわが国経済は、企業収益が改善するなど緩やかな回復基調にありましたが、期半ば以降、輸出が減少に転じ、また新車購入補助制度等の政策効果の縮小に伴って個人消費が頭打ちとなったことなどから、本格的な景気回復には至りませんでした。

そのような環境下、MS&ADインシュアランス グループは、統合効果の発揮に向けて確実な歩みを進めてまいりました。昨年10月にはあいおい損保とニッセイ同和損保が合併、今年4月には三井住友海上プライマリー生命(旧三井住友海上メットライフ生命)が完全子会社となり、10月には三井住友海上きらめき生命とあいおい生命の合併を予定しております。また、海外では昨年の中国生命保険会社への出資、マレーシアにおける生命保険およびタカフル事業への進出に続き、今年5月にはインドネシアにおける生命保険事業の戦略的資本提携を発表するなど、アジア等の成長地域を中心に積極的な事業投資を進めてまいりました。

MS&ADインシュアランス グループは、“世界トップ水準の保険・金融グループ”の創造に向け、スピードを緩めることなく成長を続けてまいります。

株主の皆さまには、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

東日本大震災に関する当社の取組み状況

震災発生後グループ保険会社各社は、ただちに地震対策室を立ち上げ、お客さま対応を開始いたしました。三井住友海上およびあいおいニッセイ同和損保では、地震保険に関するお客さまへの初期連絡、立会手配、請求書発送、保険金支払までの業務を対策室に集中化させるとともに、東日本に両社合計で21箇所の立会調査拠点を設置、総勢2,000名体制でお客さま対応にあたっております。こうして一日でも早い保険金のお支払いを行うとともに、被災地域を対象にまだ一度も事故報告をいただいていないお客さまにも、書面または電話による確認を実施するなど、被災されたお客さまに漏れなく、また一日も早く保険金をお支払いできるよう、グループ全社を挙げて取り組んでおります。



東日本大震災に係る地震保険の受付件数、支払件数・金額について

社団法人日本損害保険協会取りまとめによる5月26日現在の東日本大震災に係る地震保険の受付件数、支払件数および金額は以下のとおりです。

東日本大震災に係る地震保険の受付件数、支払件数・金額について  
(2011年5月26日現在、日本社+外国社合計)

地区	受付件数(注)	支払件数	支払保険金 (千円)
北海道	838	389	414,549
東北			
青森	5,438	3,976	3,101,488
岩手	22,604	18,043	46,544,906
宮城	201,755	155,322	401,043,098
秋田	644	426	260,383
山形	1,303	865	757,664
福島	60,741	47,358	107,890,727
小計	292,485	225,990	559,598,265
関東・甲信越・静岡			
茨城	84,135	68,010	111,898,516
栃木	30,458	23,983	31,608,584
群馬	7,312	5,117	4,672,188
埼玉	27,396	17,828	15,198,164
千葉	58,010	43,030	65,246,163
東京	68,365	44,679	48,089,243
神奈川	14,306	8,592	7,819,210
新潟	1,137	726	535,894
山梨	928	458	447,127
長野	192	101	120,768
静岡	2,156	1,546	1,167,883
小計	294,395	214,070	286,803,740
その他府県	521	163	188,627
合計	588,239	440,612	847,005,181

(出所：社団法人日本損害保険協会)

(注)「受付件数」には、事故に関する調査のご依頼のほか、地震保険の補償内容・お客様のご契約内容に関するご相談・お問い合わせなども含まれております。

この資料では、社名表示に次の略称を使用している箇所があります。

- |               |                                    |                |                         |
|---------------|------------------------------------|----------------|-------------------------|
| MS&ADホールディングス | (=MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社) | 三井ダイレクト損保      | (=三井ダイレクト損害保険株式会社)      |
| 三井住友海上グループ    | (=三井住友海上グループホールディングス株式会社)          | 三井住友海上きらめき生命   | (=三井住友海上きらめき生命保険株式会社)   |
| 三井住友海上        | (=三井住友海上火災保険株式会社)                  | あいおい生命         | (=あいおい生命保険株式会社)         |
| あいおいニッセイ同和損保  | (=あいおいニッセイ同和損害保険株式会社)              | 三井住友海上メットライフ生命 | (=三井住友海上メットライフ生命保険株式会社) |
| あいおい損保        | (=あいおい損害保険株式会社)                    | 三井住友海上プライマリー生命 | (=三井住友海上プライマリー生命保険株式会社) |
| ニッセイ同和損保      | (=ニッセイ同和損害保険株式会社)                  |                |                         |

## 当社の財務健全性について

当社グループの資本は、震災の発生を経ても健全な状況を保っております。

ご参考までに、グループ各社の格付情報と、P.07～08で表示しております「ソルベンシー・マージン比率」についてのご説明を記載いたします。

### （格付情報）

格付けは、債務者が債務を履行する能力（信用度）について、中立的な第三者機関である格付け会社が独自の基準により評価したものです。（詳しくは、各格付け会社のウェブサイトをご覧ください。）

#### 格付情報（2011年5月31日現在）

会社名	S&P	ムーディーズ	A.M.ベスト	日本格付研究所(JCR)	格付投資情報センター(R&I)	
	保険財務力格付け	保険財務格付け	財務力格付け	長期優先債務格付け	発行体格付け	保険金支払能力格付け
三井住友海上	AA-	Aa3	A+	AAA	AA	
あいおいニッセイ同和損保	AA-	A1	A	AA+	AA	
三井住友海上 きらめき生命	AA-					AA
あいおい生命						AA
三井住友海上プライマリー生命	AA-					AA

### （ソルベンシー・マージン比率）

ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標の一つですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。

なお、グループ各社のソルベンシー・マージン比率は、P.07～08をご覧ください。

### 当社の株主還元方針について

グループの中期経営計画「MS&ADニューフロンティア2013」では、統合効果の発揮と成長戦略の推進による収益の拡大を株主還元の増大へとつなげることを謳っています。具体的な株主還元としては、配当と自己株式の取得を通じ、中期的に「グループコア利益」の50%を目処として利益還元を行ってまいります。また、成長領域への積極的な事業投資を継続することにより持続的な成長サイクルを実現し、利益の拡大を通じて株主還元の増大を目指します。

#### グループコア利益

MS&ADインシュアランスグループにおける「グループコア利益」は、MS&ADインシュアランスグループ独自の利益指標で、以下の方法により算出します。

算出方法 グループコア利益＝連結当期利益－株式キャピタル損益（売却損益等）－クレジットデリバティブ評価損益－その他特殊要因＋非連結グループ会社持分利益

## 東日本大震災関連のQ&A

**Q1** 家計地震保険<sup>(注)</sup>では、どのような損害が補償されますか？

**A** 地震、噴火またはこれらによる津波を直接または間接の原因とした火災、損壊、埋没または流失によって、保険の対象となる居住用建物や家財に一部損以上の損害を被ったときに保険金が支払われます。具体的には、地震による家屋の倒壊や破損、地震により発生した火災による焼失等です。

**Q2** 今回のような大震災でも保険金は全額支払われますか？

**A** 家計地震保険は大災害時においても保険金の支払いが確実に行われるよう、政府が再保険を引き受けることによってバックアップされており、1回の地震等によって支払う保険金総額に限度額が設けられています。これは総支払限度額と呼ばれ、万一、支払保険金の総額が総支払限度額を超える場合、契約ごとに支払われる保険金は削減されることがありますが、関東大震災規模の地震災害発生を想定して保険金の支払いに支障のない金額が設定されており、現在5兆5,000億円となっています。

(注)家計地震保険とは、1966(昭和41)年5月に制定された「地震保険に関する法律」に基づき運営される地震保険制度の下で引受けが行われる「居住用建物および家財」に係る地震保険のことです。

**Q3** 今回の震災で巨額の家計地震保険金の支払いが見込まれるようですが、保険会社にとって大きな損失が発生するのではないですか？

**A** 家計地震保険は「地震保険に関する法律」に基づき、官民一体でノーロス・ノープロフィットの原則の下、運営されており、損益への影響はありません。

**Q4** 家計地震保険以外に、震災により保険金支払いの生じるものはありますか？

**A** 主に企業の事業用資産を補償する地震危険補償特約や貨物海上保険等で地震危険を補償する保険があり、今回の震災により生命保険契約を含め、当社グループで647億円(正味発生保険金ベース)の支払いを見込んでいます。

**Q5** 東日本大震災による福島第一原子力発電所事故に対する支払いは発生しないのですか？

**A** 原子力保険の引受けはありますが、地震・津波による損害が免責となっていることなどから、損害保険で保険金支払いの対象となるものはない見込みです。

## 連結業績について

連結ベースの正味収入保険料は2兆5,414億円と、前期に比べて0.9%の増収となりました。事業環境は依然として厳しい情勢にあります。増収決算となりました。

一方、保険金面につきましては支払備金繰入額が前期に比べ859億円増加しました。この主因である東日本大震災関連の発生保険金は、グループ全体で829億円にのぼります。

以上に加え、統合関連費用の負担増を主因に特別損益が129億円減少したこともあり、当期純利益は前期を519億円下回ったものの、54億円の黒字となりました。

## 国内損害保険子会社の業績について

(三井住友海上 単体)

正味収入保険料は1兆2,305億円と、前期に比べて2.2%、268億円の増収となりました。これは住友生命との提携強化に伴う取組み等による増収が主因です。

正味支払保険金は、自動車保険での事故受付件数が増加した影響もあり前期比で増加しましたが、台風等による支払いが少なかったことなどから、全種目合計では前期比60億円の減少となりました。

一方、東日本大震災の影響を受けて、407億円の支払備金繰入れとなるなど、発生保険金としては前期比539億円の増加となりました。

資産運用面では、利息及び配当金収入が前期に比べて減少した一方、株式の売却を積極的に進めた結果、資産運用損益は839億円と、前期比261億円の増加となりました。

以上の結果、経常利益は317億円となり、当期純利益は228億円、前期に比べて25億円の減益となりました。

(あいおいニッセイ同和損保 単体)

正味収入保険料は1兆973億円と、前期に比べて0.8%の減収となりましたが、主力の自動車保険では海外でのトヨタ自動車との連携による保険販売の拡大などにより、前期に比べて1.8%の増収となりました。

正味支払保険金は、自動車保険での事故受付件数の増加などにより前期に比べて53億円増加し、支払備金繰入額は、東日本大震災の影響を主因として前期に比べて314億円増加しました。

資産運用面では、有価証券評価損が51億円増加したことや、金融派生商品損益で前期に多額の評価益を計上した反動から、資産運用損益は514億円の黒字となりましたが、前期に比べて100億円減少しました。

以上の結果、経常利益は160億円、特別損失として統合関連費用304億円を計上したことなどもあり、当期純利益は114億円の損失と、前期に比べて326億円の減益となりました。

(三井ダイレクト損保 単体)

正味収入保険料は331億円と、前期に比べて2.1%の増収となり、当期純利益は2億円(当社出資持分)と、単年度黒字を達成しました。

## 国内生命保険子会社の業績について

三井住友海上きらめき生命は、標準責任準備金の必要額全額(税前111億)を当期に一括して積立てたことから当期純損益は、53億円の損失となりました。

あいおい生命では、経営統合関連費用23億円を特別損失に計上したことを主因に、当期純損益は、18億円の損失となりました。

三井住友海上メットライフ生命では、変額年金保険マーケットの縮小に伴い販売は減少しましたが、創業以来繰延べていた費用の残高を前期に一括償却し、当期は償却負担がなくなったこともあり、当期純利益は93億円(当社出資持分)となりました。

## 海外保険子会社の業績について

アジア地域の業容が引き続き順調に拡大しており、正味収入保険料は前期に比べて45億円増加し、1,806億円となりました。

一方、当期純利益は、主に欧州において料率競争が厳しいマーケット環境の中で、引受けを慎重に実施していることから保険料が大幅に減少したことに加え、発生保険金も増加したことにより、前期に比べて127億円減少し、45億円となりました。

(注)上記「連結業績」および「海外事業」における前期との比較については、三井住友海上グループにおける前期業績とあいおい損保およびニッセイ同和損保の前期業績の単純合算値との比較を記載しております。

## 2010年度・連結決算の概要(MS&ADホールディングス 主要項目)

(億円)

	2009年度		2010年度	
			比較増減	増減率(%)
正味収入保険料	25,190	25,414	223	0.9
経常利益	991	210	-781	-78.8
当期純利益	573	54	-519	-90.5
総資産	114,813	114,450	-363	-0.3
純資産	18,623	16,333	-2,289	-12.3

○2010年度の業績(経常利益、当期純利益)には、東日本大震災による発生保険金647億円(家計地震保険を除く)の影響が含まれております。

## 種目別保険料・保険金(グループ合計)

### 種目別正味収入保険料

(億円)

	2009年度		2010年度	
		増減率(%)		増減率(%)
火災	3,717	0.5	3,545	-4.6
海上	842	-19.4	894	6.2
傷害	2,087	-1.1	2,127	1.9
自動車	12,519	0.1	12,895	3.0
自賠責	2,726	-8.7	2,738	0.4
その他	3,296	-7.6	3,212	-2.6
合計	25,190	-2.8	25,414	0.9

### 種目別正味支払保険金

(億円)

	2009年度		2010年度	
		増減率(%)		増減率(%)
火災	1,527	2.6	1,373	-10.1
海上	462	-5.2	398	-13.9
傷害	1,151	5.9	1,125	-2.2
自動車	7,998	1.9	8,370	4.6
自賠責	2,581	-2.8	2,608	1.1
その他	2,412	5.4	1,984	-17.7
合計	16,134	1.7	15,861	-1.7

(注) 1. 2009年度の数値は、旧三井住友海上グループ、旧あいおい損保、旧ニッセイ同和損保の業績の単純合算値を記載しております。  
2. 保険料については、三井住友海上の独自商品である自動車保険「もどリッチ(満期精算型払戻金特約付契約)」の払戻充当保険料を控除したベースで記載しております。

## 国内損害保険事業における主要数値および指標の状況

(億円)

区分	三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ 同和損保(単体)		三井ダイレクト損保(単体)	
	2009年度	2010年度	2009年度	2010年度	2009年度	2010年度
正味収入保険料	12,037	12,305	11,067	10,973	324	331
(対前期増減率)	-2.9%	2.2%	-1.9%	-0.8%	9.3%	2.1%
正味損害率	70.3%	68.4%	67.7%	68.2%	70.2%	76.6%
正味事業費率	34.5%	33.9%	35.0%	35.6%	24.8%	21.9%
コンバインド・レシオ	104.8%	102.3%	102.7%	103.8%	95.0%	98.5%
保険引受利益	-159	-503	-143	-333	-11	1
資産運用損益	577	839	615	514	1	2
経常利益	357	317	474	160	-9	3
当期純利益	254	228	212	-114	-10	3
純資産額	12,053	10,450	5,776	4,766	96	99
ソルベンシー・マージン比率	839.4%	768.8%	(*)	681.6%	669.8%	640.0%

○2010年度の業績(保険引受利益、経常利益、当期純利益)には、東日本大震災による発生保険金の影響が含まれており、各社ごとの発生保険金の計上額は次のとおりであります。

- 三井住友海上: 432億円
- あいおいニッセイ同和損保: 194億円

(注) 1. 三井住友海上の正味収入保険料、正味損害率、正味事業費率およびコンバインド・レシオは、同社独自商品の自動車保険「もどリッチ(満期精算型払戻金特約付契約)」の払戻充当保険料を控除したベースで記載しております。

2. 正味損害率=(正味支払保険金+損害調査費)÷正味収入保険料×100

3. 正味事業費率=(諸手数料及び集金費+保険引受に係る営業費及び一般管理費)÷正味収入保険料×100

4. コンバインド・レシオ=正味損害率+正味事業費率

5. 2009年度のソルベンシー・マージン比率(\*)は、あいおい損保755.9%、ニッセイ同和損保901.5%です。

## 国内生命保険事業における主要数値および指標の状況

(億円)

区分	三井住友海上 きらめき生命		あいおい生命		三井住友海上 メットライフ生命	
	2009年度	2010年度	2009年度	2010年度	2009年度	2010年度
新契約件数	218,854件	250,653件	95,232件	103,447件	62,635件	44,983件
保有契約高	94,447	101,381	58,433	62,947	31,375	30,830
保有契約年換算保険料	1,945	2,024	735	766	5,317	4,355
基礎利益	32	-23	63	21	-69	285
当期純利益	0	-53	13	-18	89	187
純資産額	577	529	338	329	353	542
ソルベンシー・マージン比率	2,129.7%	2,127.0%	1,994.3%	1,954.1%	1,058.0%	1,026.4%

○2010年度の業績(基礎利益、当期純利益)には、東日本大震災による発生保険金の影響が含まれており、各社ごとの発生保険金の計上額は次のとおりであります。

- 三井住友海上きらめき生命: 15億円
- あいおい生命: 5億円

(注) 1. 新契約件数、保有契約高、保有契約年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計金額を記載しております。

2. 年換算保険料は、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額を示しています。

3. 基礎利益は、保険本業の収益を示す指標の一つで、「経常利益」から「キャピタル損益」と「臨時損益」を控除したものです。

※三井住友海上メットライフ生命は、2011年4月1日付で当社の100%子会社となり、同日付で「三井住友海上プライマリー生命保険株式会社」に社名変更しております。

# 会社概要 / 役員 / 株式の状況

## 会社概要 (2011年3月31日現在)

社名	MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社
本店所在地	東京都中央区八重洲一丁目3番7号
設立	平成20年(2008年)4月1日
資本金	1,000億円
従業員数	36,538名(連結)

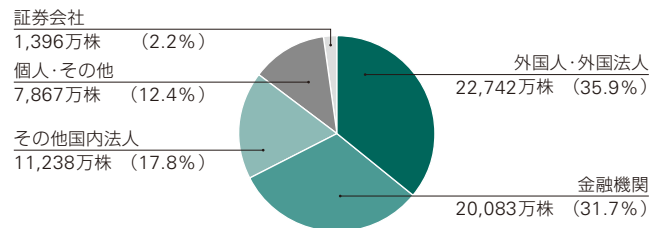
## 役員 (2011年6月29日現在)

取締役社長(代表取締役)	社長執行役員	江頭 敏明
取締役(代表取締役)	執行役員	立山 一郎
取締役(代表取締役)	執行役員	柄澤 康喜
取締役(代表取締役)	執行役員	鈴木 久仁
取締役	専務執行役員	藤本 進
取締役	常務執行役員	堀本 修平
	常務執行役員	梅村 孝義
取締役	執行役員	米田 正典
	執行役員	岸本 保夫
	執行役員	太田 誠一
取締役	執行役員	藤井 史朗
	執行役員	土屋 光弘
取締役	執行役員	畑岡康二郎
	執行役員	飯島 一郎
	執行役員	杉山 浩一
社外取締役		関 俊彦
社外取締役		渡邊 顯
社外取締役		梅津 光弘
社外取締役		角田 大憲
監査役(常勤)		池田 克朗
監査役(常勤)		中村 仁義
社外監査役		安田 莊助
社外監査役		野村 晋右
社外監査役		手塚 裕之

## 株式の状況 (2011年3月31日現在)

発行済株式の総数	633,291,754株
株主数	75,828名

### 所有者別分布状況



### 大株主状況(上位10名)

株主名	保有株式数 (万株)	持株比率 (%)
トヨタ自動車株式会社	5,261	8.3
日本生命保険相互会社	3,632	5.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,988	4.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,701	4.3
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	2,477	3.9
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	1,064	1.7
NATSCUMCO	915	1.4
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	881	1.4
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	802	1.3
MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	767	1.2

※当社は自己株式1,137万株を保有していますが、上記大株主から除いています。

# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内に開催します。
配当の基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 (注) 配当金は、支払開始の日から満3年を経過しますと、 定款の規定によりお支払いできなくなりますので、 お早めにお受け取りください。
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-176-417
特別口座の 口座管理機関	住友信託銀行株式会社および 三菱UFJ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告の方法により、下記ホームページに 掲載します。ただし、事故その他やむを得ない 事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載 します。 <a href="http://www.ms-ad-hd.com/company/notification/index.html">http://www.ms-ad-hd.com/company/notification/index.html</a>

## 株式に関するお手続きについて

- お受け取りがお済みでない配当金を受け取るお手続き  
住友信託銀行株式会社までお申し出ください。
- その他のお手続き  
(1) 証券会社に口座をお持ちの場合: お取引先の証券会社へ  
お申し出ください。  
(2) 証券会社に口座をお持ちでない場合(特別口座で管理されて  
いる場合): 下記お問合わせ先へお申し出ください。  
(お手続きの例)  
ご住所を変更される場合  
今後の配当金のお受け取り口座のご指定をされる場合  
単元未満株式の買取・買増のご請求をされる場合 など

## 単元未満株式の買取・買増請求について

- 証券取引所で売買できない、100株未満の株式(単元未満株式)については、買取・買増のご請求により整理することができます。
- 単元未満株式の買取請求(当社に株式の買い取りをご請求いただく方法)  
(例) 株主さまのご所有の150株のうち、当社が50株を買い取ります。  
→ 株主さまのご所有の株式は100株となります。
  - 単元未満株式の買増請求(当社から株式を買い増して100株単位としていただく方法)  
(例) 株主さまのご所有の150株に加え、当社から50株を買い増します。  
→ 株主さまのご所有の株式は200株となります。

## お問合わせ先

住友信託銀行株式会社	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-176-417
三菱UFJ信託銀行株式会社	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711

## TOPIC 01

### 2010年日経優秀製品・サービス賞でGKクルマの保険「ニューロング」が最優秀賞を受賞

三井住友海上の新品GKクルマの保険「ニューロング」が「2010年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞」を受賞しました。

「ニューロング」は、「保険期間中に事故の有無に係わらず1年契約を毎年継続するよりも保険料が安くなる」「毎年の継続手続きが不要」など、さまざまなメリットがある保険であり、2010年10月発売以来6ヶ月間で58万件<sup>(注)</sup>を超えるご契約を頂戴することができました。今後もお客さまニーズにお応えできる商品と高品質のサービスの提供に努めていきます。(注)2011年3月31日までの契約件数:当社調べ



## TOPIC 02

### 生物多様性保全取組みを中心とした地域貢献活動を全国で実施

あいおいニッセイ同和損保では、10～11月を『感謝の月(地域の皆さま おかげさまで!)』として、地域社会への貢献活動を全国各地で実施しています。

2010年は、10月1日の合併後初めての地域貢献活動として、「生物多様性の保全取組み」を中心とした地球環境を守る活動を各地で実施しました。例年実施している活動のほか、新たに麻機湿原環境保全活動(静岡)や錦江湾(鹿児島)でのビーチクリーン活動などを加え、各地域でそれぞれ工夫を凝らした取組みを行いました。



## TOPIC 03

### 「平成23年 全日本選抜柔道体重別選手権大会」 阿部香菜選手、中村美里選手、山岸絵美選手が優勝

4月2日(土)・3日(日)に開催された「全日本選抜柔道体重別選手権大会」で、三井住友海上の阿部香菜選手(63kg級)、中村美里選手(52kg級)、山岸絵美選手(48kg級)の3名が優勝しました。山岸選手は、昨年と一昨年の世界柔道選手権王者を破り3度目の優勝、中村選手は2年連続3度目の優勝となります。

震災で大きな損害を受けた宮城県石巻市の出身である阿部選手は、「被災地の方に力を与えられたらと思って頑張りました」と特別な思いで臨んだ大会で見事初優勝し、8月に開催されるパリ世界柔道選手権の代表に内定しました。また、世界柔道選手権の代表には中村選手、上野順恵選手(63kg級)も選出されています。



阿部香菜選手



中村美里選手



山岸絵美選手

**MS&AD MS&AD インシュアランスグループ ホールディングス株式会社**

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル

<http://www.ms-ad-hd.com>